

006

## 被災された患者に向けての「災害時備蓄品パック」支援

取組主体

特定非営利活動法人日本アトピー協会

従業員数

想定災害

実施地域

4人

全般

大阪府

・被災したアトピー患者の症状悪化予防のため、肌にやさしい製品を詰め合わせた「レスキューパック」を届けてきた。また「アトピー患者さん向け災害時備蓄品パック」を作成し啓発活動を行っている。

### 1 取組の概要

#### 阪神淡路大震災における患者支援を目的に設立

・アトピーに関する啓発活動を行なっている特定非営利活動法人日本アトピー協会は、1995年阪神淡路大震災における患者支援のために設立された。増加傾向にあるアレルギー諸疾患や敏感肌である人が、日常生活で受ける様々な支障を少しでも軽減することを目的に、的確な情報の提供や快適な暮らしの支援を行っており、推薦品への認定とマークの発行・通信紙「あとびいなう」の発行・相談の受付および医師や医療機関の紹介・患者交流イベントや講演会の開催などを実施している。

#### 東日本大震災にて「レスキューパック」の送付開始

- ・東日本大震災から、様々なアレルギーのある方々が使える、肌にやさしい日用品の詰め合わせである「レスキューパック」の個人送付を無料で開始した。中身は、洗濯石鹸や保湿剤、肌刺激が少ない浴用石鹸、肌着、タオルなどである。避難所生活を送っていたとしても個人宛てに届けることは可能であり、できる限り個々のニーズに合う支援を心がけている。
- ・2018年の西日本豪雨や北海道胆振東部地震でもレスキューパックの送付を行った。



レスキューパック

#### 現在ではアトピー対策の備蓄品の普及啓発に取り組む

- ・東日本大震災以降も、全国の大規模災害発生時には公式 HP や X (旧 Twitter) などで告知し、アトピー患者の症状悪化予防のために日用品や必要な情報の支援を行っている。
- ・東日本大震災での支援時、支援物資の配達に時間がかかり、災害発生から2週間を過ぎてから現地のアトピー患者の手に支援物資が届けられたケースもあった。このことをきっかけに自助の重要性を再確認することとなり、現在では「アトピー患者さん向け災害時備蓄品パック」を作成し啓発活動を行っている。

### 2 取組の特徴（取組の狙い、工夫した点、差別化した点等）

#### 企業との連携

- ・様々な企業と連携して、「アトピー患者さんにとって有益な日用品」の検討を行っており、現在賛助会員は100社以上ある。
- ・そのような企業との関係の中で、様々な企業から、商品の案内や紹介をいただき、数多くの商品を吟味して、「災害時備蓄品パック」のアイテムを厳選、コンパクトに持ち出しやすくなるような備蓄品パックとした。

#### チェックリストや、パンフレットの同封

- ・本来であれば、備蓄品パックの中に肌着等も入れたかったが、サイズの関係で入れ込むことができなかった。そこで、備蓄品パックの内容に加えて、追加で必要となるようなアイテム（肌着・処方薬・処方保湿剤・内服薬・目薬などの医薬品、精製水）をチェックできるようなチェックリストを作成した。
- ・さらに、日本小児アレルギー学会が作成した「災害時のこどものアレルギー疾患 対応パンフレット」も同封し、災害時のアレルギー対応への啓発を促した。

### 3 取組の効果

- ・2023年、同社発行の広報誌「あとぴいなう」にて、「アトピー患者さん向け災害時備蓄品パック」を紹介し、100名分を無償で提供することを呼びかけたところ、応募が多く集まった。アトピーケアグッズを自ら準備してもらう機会にもなったと考えている。
- ・2024年元旦の能登半島地震でも、アトピー患者の方に向けて、「災害時備蓄品パック」の個別配送を実施している。
- ・備蓄品パックについて、アトピーを持つYoutuberが、Youtube動画にて紹介した。

### 4 取組への想い

- ・災害時、とくに食物アレルギーがある子どもや乳アレルギーがある乳児は命に係わる状況となる。また、アトピー患者はストレスや環境の変化から症状が悪化する場合が多くあるが、クリニックで処方される外用薬の提供は処方箋が必要であるため提供することが不可能である。これらを踏まえて日本アトピー協会としてできることは何かを熟考した結果、支援物資の提供に取り組むこととなった。
- ・災害時の支援として苦勞するのは、いち早く現地のアトピー患者へ支援物資を届ける点である。物流経路が寸断されるなど様々なケースが考えられるため、現在はアトピー患者自らが自分に必要な被災時の物資を準備できるよう「アトピー患者さん向け災害時備蓄品パック」を作成し啓発活動を行っている。



倉庫化した事務所

### 5 防災・減災以外の効果

- ・「アトピー患者さん向け災害時備蓄品パック」の支援を受けたアトピー患者が災害時に必要な備蓄品の必要性をSNSで発信し、啓発活動の一つとなった。

### 6 現状の課題・今後の展開等

- ・被災したアトピー患者からの要望をボトムアップで拾い上げる支援体制の仕組みが重要だと考えており、アトピー患者に提供できる商品をこまめにリサーチし、見つけた際には、「災害時備蓄品パック」に追加していきたい。

### 7 周囲の声

- ・「備蓄品パックに爪切り・爪やすりが同封されていたことに驚いた。災害時には爪切りがないことに気づくことで、防災への意識が高まった。」（備蓄品パックの利用者）

#### 担当者の声

- ・アレルギーに対して各自治体でもご検討していただき備蓄などがありますが、被災当初は公的な支援を期待することなく、自助の準備が大切だと思います。アトピー性皮膚炎をはじめとするアレルギー疾患、とくに食物アレルギーがある方は、支給されるパンやおにぎりも食せない場合があります。ぜひ自助をもう一度見直していただけますようお願いいたします。
- ・また同時に各自治体でも、アトピー患者向け備蓄の拡充など、さらなる準備を進められていくことを期待いたします。

問合せ先	動画	サイト URL
特定非営利活動法人日本アトピー協会 法人番号：8120005010578 電話番号：06-6204-0002 FAX：06-6204-0052 URL：http://www.nihonatopy.join-us.jp/ お問い合わせ：http://www.nihonatopy.join-us.jp/formmail/contact.html	—	